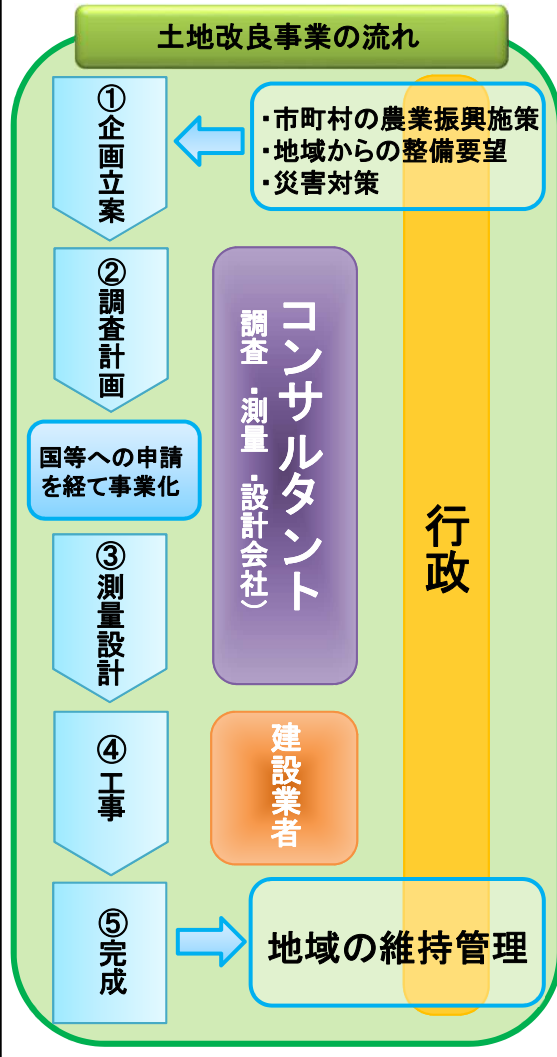


農業・農村の発展のために

～土地改良事業の流れ(コンサルタント編)～

写真: 測量の様子

土地改良事業の流れ



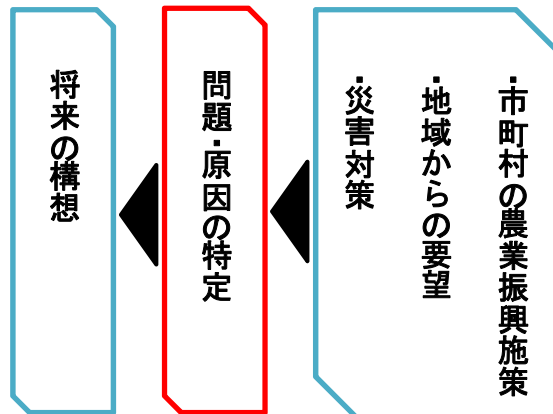
まとめ

土地改良事業とは、農業の生産性向上や農業・農村の維持保全を目的とした事業です。山梨県では、果樹産地等における圃場や農道、農業用水路の整備、地域住民の生命や財産を守るための防災対策、施設の長寿命化・耐震化対策、野生鳥獣による農産物への被害防止施設の整備などを推進しています。

土地改良事業は左のフロー図に沿って行われます。農業者をはじめとする地域の皆さん、設計や工事を行う人たちなど、多くの人々が力を合わせることで、はじめて完成を迎えることができます。普段、目にする多くの多い工事の風景に比べ、事業の企画立案から測量設計までの流れは、なかなかイメージしづらいと思います。そこで今回の記事では、①企画立案から、③測量設計までの流れを紹介したいと思います。

① 企画立案

市町村の農業振興施策や地域からの要望、災害対策に対して、問題・原因の特定を行った上で、地元への聞き取りを基にした将来構想を明確にします。



●行政とコンサルタントでの
打合せの様子



よりよい事業計画になるよう知恵
を出し合います！

② 調査計画

将来構想の実現に向け、資料収集や対
策工法の選定を行い、費用対効果を含む
多くの観点から検証を行います。その際
コンサルタントは様々なアイデアを考案
しています。また、事業実施の妥当性等
を評価し、事業費の算出、事業申請に向
けた書類作りのサポートを行っています。

資料の収集・検討

対策工法の選定

事業費の算出

費用対効果の算出

計画書作成

●作業風景



現場だけではなくデスクワーク
にも精が出ます。

① 調査会社にインタビュー

Q. 業務上、大変なことは
何でしょうか？

A. 事業計画策定業務で、古い資料など
がなかなか入手できない事もあります。
事業の申請に間に合わせるために、時
には夜遅くまで対応し、必死で間に合
わせなければなりません。また、業務
をする上では初めてのことに直面し
ます。これを解決するためには、多方
面の資料に目を配り、回答を出さなけ
ればなりません。なかなか解決案が出
てこない時の焦りは、非常に辛いもの
があります。

Q. やりがいを感じるのは、どんな
時でしょうか？

A. 地域や発注者からの要望や施策を聞
き取り、考えを整理して計画を作成し、
一生懸命頑張って全面的に携わった地
区が事業採択を受け、綺麗に整備され
た様子を見ると、頑張った良かったと
感じます。

③ 測量設計

測量は図面の作成や土地の状態等を把握
するためにを行います。測量を行う範囲は設
計、整備に必要なと想定される範囲となりま
す。

設計は各種技術基準に基づき、事業計画
の目的を反映させます。また、関係機関と
の協議調整や、環境等への配慮、適切かつ
経済的なコストになるようにも留意してい
ます。

各種測量

●基準点測量や路線測量、用地測量等を
実施します。

設計図面作成

●測量結果に基づき、設計図を作成します。

各種構造計算、安定計算

●構造物の安全性を確認するための計算を
実施します。

数量算出

●土工や構造物の数量を計算する作業を
実施します。

協議

●法律等に基づく協議を関係機関と
実施します。

② 測量設計会社にインタビュー

Q. 業務上、大変なことは
何でしょうか？

A. 測量業務は早朝から夕方まで行い、
その結果をその日のうちに計算、図化
します。そのため、夜遅くまで作業し
なければなりません。また、積雪等の気
候要因によっては、同じ作業でも倍以
上の時間と労力を要します。また災害時
には、地域の人たちのために迅速な対応
が求められ、危険な箇所での作業はも
ちろんですが、厳しいスケジュールの中、
作業しなければなりません。

Q. やりがいを感じるのは、どんな
時でしょうか？

A. 測量設計を行った道路や水路の工
事が完了し、地域の利便性が良くなり、
住民の皆さんに感謝された時です。ま
た、自分たちの仕事が目に見える形と
なったことに、やりがいを感じます。

●災害発生現場で測量する様子



速やかに災害を復旧するために、
体を張って頑張っています！